



オーストラリア・モナシュ大学の語学研修【関連記事7ページ】

## リハビリテーション科学部を新設します

リハビリテーションを通して地域住民の健康増進と  
QOLの向上に貢献できる医療人を養成します

リハビリテーション科学部・設置準備委員長 大野 弘機



2011年12月開催の理事会(第233回)において、理学療法学科(PT, Physical Therapy)と作業療法学科(OT, Occupational Therapy)の2学科から構成される「リハビリテーション科学部」の設置が承認されました。現在、2013年4月の開設に向けて準備中です。リハビリテーション科学部は、本学では5番目の学部であり、本学の教育理念の「保健・医療・福祉の連携と統合」および行動目標の「新医療人育成の北の拠点を目指す」を実現するために、本学の基盤整備の一環として「2020行動計画」の中で策定されたものです。

北海道におけるリハビリテーション領域の人材養成機関は、大学は3校(札幌医科大学、北海道大学、北海道文教大学)のみで、他は専門学校として3年制が2校と4年制が4校あります。本学が参入することに対して一部で人材の過剰が懸念されております。そこで本学は、第三者機関にお願いして道内の高等学校や関連する医療機関を対象として、受験生や卒業生の就職先の確保などを主にした広範な項目にわたるニーズ調査を実施いたしました。その結果、高齢社会の現状と医療過疎地を多く抱える北海道という地域的特殊性から、リハビリテーション科学部設置に寄せる期待は非常に大きいことが判明しました。

質の高い医療を実現するためには、高度な教育を受けたコメディカル・スタッフによる医療の実践が不可欠です。リハビリテーション科学部は、国家試験合格率の100%達成は当然目指しますが、それに留まらず多職種のメディカル・スタッフと連携できる高度な専門職能人を養成したいと考えています。

本学は、学部と同時に大学院(修士課程)も開設しようとしております。本学の大学院構想に対しては現場で働く多くの理学療法士や作業療法士の人たちが社会人入学について強い関心が寄せられています。科学的根拠(Evidence)に基づいた治療計画を策定し、治療効果を評価するためには、臨床研究は不可欠です。そのためには、3つの能力、すなわち「臨床dataを蓄積する能力」「症例を解析する能力」「結果を公表する能力(プレゼンテーション能力・論文作成能力)」を涵養する必要があります。これが大学院での人材養成における高度化の具体的方策です。

さらに、本学では、「地域リハビリテーション・センター」の開設など、高度な学習環境の基盤整備を構想中です。

これらの構想が実現することによって、地域や国際社会に幅広く貢献できる人材養成が可能となると確信します。

## CONTENTS

リハビリテーション科学部を新設しますー	1
教員役職者・新任教員・昇任教員紹介	2
2013年4月、リハビリテーション科学部新設 歯科医療最前線	3
国家試験結果報告	4
就職状況結果報告	5
2012年度入試結果報告 新入生オリエンテーション ベンチプレス世界選手権大会	6
オーストラリア・モナシュ大学 語学研修レポート	7
私の学生時代	8
OG訪問【薬学部】	9
学校法人東日本学園 ○2011年度決算 ○2012年度予算	10
新入生アンケート結果報告 EDITOR'S NOTE	12